

# 議会だより さつま

令和4年2月3日発行

## No. 68

新成人 おめでとう!



1 2月定例会の概要・・・・・・・・・・ P2～P3  
常任委員会審査の概要・・・・・・・・・・ P4～P5  
（3月定例会の予定 P5）  
一般質問（8人）・・・・・・・・・・ P6～P13  
特別委員会（行財政改革・議会活性化）・・・・ P14  
決算特別委員会・・・・・・・・・・ P15  
議会活動、編集後記・・・・・・・・・・ P16



さつま町ホームページ（議会）

# 令和3年度各会計12月補正予算額

# 12月定例会

会計名	補正額	補正後の予算総額
一般会計 (8号・9号・10号・11号)	8億4,849万円	176億4,564万円
特別会計 国民健康保険事業	212万円	30億9,416万円
特別会計 農業集落排水事業	歳出項目組替え のため増減なし	1億2,885万円

※金額は千円単位を四捨五入

第4回(12月)定例会は、11月30日から12月20日までの21日間の会期で行われ、令和2年度の決算を認定するとともに、条例の一部改正2件、各会計の補正予算などを審議し、提案されたすべての議案を可決しました。

## 補正予算の概要

※金額は千円単位を四捨五入

### 農地中間管理事業費

1,515万円

農地中間管理機構と農地の貸し借り契約をした方を支援するものです。



総会で事業費の活用を図る

### 公共土木施設災害復旧事業費

3億2,800万円

7月豪雨災害の復旧工事費で、河川11件、道路27件分です。



被災した海老川と町道平川新改線

### ふるさとさつま応援寄附金事務費

1億6,112万円

ふるさと応援寄附金に伴う返礼品や基金の積み立てなどです。



## 新型コロナウイルス感染症関連補正予算

### イベント等の中止

#### 感染拡大に伴う中止

△1,434万円

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各種イベントや研修会等が中止になり、今後も開催予定のない事業の予算を減額するものです。

(各種スポーツ大会、町夏まつり、中種子町・青森県鶴田町交流事業など)

### 国の緊急対策等

#### 子育て世帯給付金

2億9,142万円

#### 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費

子育て世帯に対し、年収960万円を超える世帯を除き、18歳以下1人当たり10万円の現金給付に係る経費です。

#### 追加ワクチン接種

2,484万円

#### 新型コロナウイルスワクチン接種事業費

3回目の追加接種の実施に係る費用です。

2回目接種後、8か月を経過した方に随時、予診票などを送付します。

(1月現在、65歳以上は7か月後の追加接種で調整しています。)

# どう変わった 我が町の条例

## 国民健康保険税条例 の一部改正

全世代型社会保障改革の方針に基づくもので、未就学児に係る国民健康保険税の均等割額を5割減額するものです。

## 国民健康保険条例 の一部改正

産科医療補償制度の改正により掛金が4千円引き下げられることから、出産育児一時金の支給総額を42万円に維持するため、健康保険法施行令の改正に基づき、出産育児一時金を4千円引き上げるものです。

## その他の議決事項

林道災害復旧事業  
運床線工事請負契約  
の締結

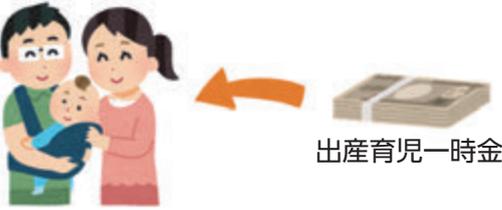
林道運床線の令和3年災害復旧工事を行うものです。  
 ■ 契約金額  
9350万円  
 ■ 契約の相手方  
薩摩建設株式会社

林道災害復旧事業  
北薩2号線工事請負  
変更契約の締結

林道北薩2号線の令和2年災害復旧工事の請負契約を変更するものです。  
 ■ 変更請負金額  
88万9千円  
 ■ 変更後請負金額  
8184万9千円  
 ■ 契約の相手方  
渡利建設株式会社

## 対象

公的医療保険の被保険者や被扶養者で、出産された方



出産育児一時金

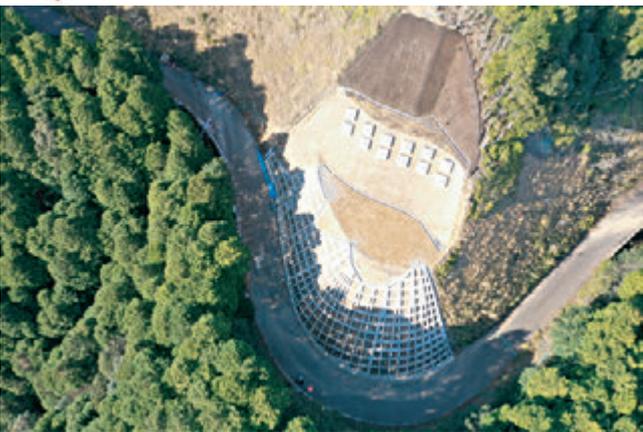
子ども1人につき**42万円**を支給  
(特定の条件では40万8,000円)



林道北薩2号線の被災状況(令和元年7月)



林道運床線の被災状況(令和2年7月)



林道北薩2号線の現在の状況(令和3年12月)

## 固定資産評価員

新任



高田 真氏  
副町長

任期:令和3年11月30日~

人事案件に同意しました

委員会に付託された議案を全て可決

委員長 岸良光廣  
副委員長 中村慎一  
委員 平山俊郎  
委員 上園一行  
委員 森山 大  
委員 新改秀作  
委員 有川美子

総務厚生

委員会に付託された条例改正2件、一般会計補正予算(第10号)関係分、特別会計補正予算2件が審議されました。  
委員会審査の中で、出された質疑、意見などを掲載しています。

一般会計補正予算(第10号)関係分

**問** 公民会の集会施設を取り壊す場合に補助はあるのか

**答** 補助金交付要綱に基づき、解体費用の一部を助成する。

**問** 自動心肺蘇生器の導入によりどのようなメリットがあるのか

**答** 搬送中の継続的な心臓マッサージを可能にし救命率の向上を図るとともに、患者との直接的な接触を避けることで感染症対策にもなる。

**問** 自動心肺蘇生器の操作に特別な資格が必要か

**答** 特に資格は必要ないため、救急隊員であれば誰でも操作できる。

**問** 新型コロナウイルスの3回目接種の時期は

**答** 2回目の接種から8か月後に追加接種を計画している。高齢者等については、令和4年1月から接種開始となり、接種月の前月下旬に予約票を郵送する(1月現在、65歳以上は7か月後の追加接種で調整しています。)

**問** 12歳未満の子供に対するワクチン接種の見込みは

**答** 5歳から11歳までの子供については、ワクチン接種の承認があり次第、進めていく。

**問** インフルエンザ予防接種費用の助成を行う考えはないか

**答** 昨年度は流行の兆しがあると事前に県から通知があったため、年齢制限のない接種費用の助成を行ったが、今年度は生後6か月から高校3年生まで、65歳以上の高齢者及び妊産婦のみを助成対象とした。来年度の費用助成については、状況に応じて検討していきたい。



導入を予定している自動心肺蘇生器(メーカーパンフレットより)



運転管理業務の委託を進めるクリーンセンター

**問** クリーンセンター等運転管理業務の委託内容に変更はあるのか

**答** 計量を担当している会計年度任用職員を管理業務に含めて委託する。

**問** 委託内容の変更により常駐する職員の処遇は

**答** 事務所を環境センターに集約して管理す

**問** 管理する職員の不在について見直す考えはないか

**答** 繁忙期などについては職員配置を考えているが、町民の利便性に支障がない形で予定どおり委託していきたい。

る予定であるため、クリーンセンターには町職員が常駐しない体制となるが、当分の間は引き継ぎ期間として職員を配置する。

文教経済

委員会で付託された一般会計補正予算（第10号）関係分が審議されました。委員会審査の中で出された質疑、意見などを掲載しています。

- 委員長 新改幸一
- 副委員長 上久保澄雄
- 委員 橋之口富雄
- 委員 上別府ユキ
- 委員 平八重光輝
- 委員 古田昌也
- 委員 川口憲男
- 委員 柏木幸平

一般会計補正予算（第10号）関係分

委員会に付託された議案を全て可決

**問** 危険箇所がある林道での災害査定でドローンを活用する計画はないか

**答** 現在のところ、国や県からそのような情報はない。

**問** 「薩摩のさつま」ブランドをテレビコマーシャルなどでPRする考えはないか

**答** 南日本新聞では紹介されたが、今後も各種PR活動を行ってきたい。

**問** 7月豪雨で被害を受けたいちご農家の施設は局地激甚災害の対象とならないのか

**答** 現在のところ対象となっていないため、町単独での補助としていますが、国県への要望を行っており、事業が創設されれば補助事業で対応する。



令和3年7月豪雨災害で被災されたいちごハウス

**問** 長年入居がない教職員住宅を売却する考えはないか

**答** 老朽化や入居見込みのない住宅は、解体撤去や売却による処分を検討している。将来的には60戸ある住宅を約30戸に減らしたい。

**問** 災害復旧工事により被災箇所以外の道路等が傷んだ場合の対応は

**答** 災害復旧に関連する工事で補修が必要となった場合は、町単独予算で補修を行っていく。

令和4年第1回(3月)定例会は2月28日開会予定です。

3月定例会予定 議運…議会運営委員会、全協…全員協議会

日	月	火	水	木	金	土
				2/24 議運	2/25 全協	2/26
2/27	2/28 本会議 (開会日)	3/1	2	3	4	5
6	7	8 本会議 (一般質問)	9 本会議 (一般質問)	10 本会議 常任委員会	11 常任委員会	12
13	14 常任委員会	15 常任委員会	16	17	18	19
20	21	22	23 常任委員会 議運・全協	24	25 本会議 (閉会日)	26

日程は変更になることがあります。詳しくは議会事務局（53-1111）にお問い合わせください。

○日程等は、防災行政無線放送や町ホームページで事前にお知らせいたします。

○鶴田支所、薩摩支所のロビーに設置してあるテレビやインターネット（YouTube）で、本会議の中継を視聴することができます。



QRコードを読み取るとライブ中継画面のページが表示されます。

議会情報を満載

《さつま町ホームページ》  
<http://www.satsuma-net.jp>

トップページの下画面から議会情報をご覧になれます。



ここをクリック

# 一般質問

# 町政を問う

## 古田 昌也（7ページ）

- ・ SNSの活用による情報発信について
- ・ 地域担当職員制度及び役場職員の在り方について

## 岸良 光廣（8ページ）

- ・ 行政改革について

## 平山 俊郎（9ページ）

- ・ 自衛隊誘致について

## 新改 幸一（9ページ）

- ・ 中古ランドセルの活用について

## 川口 憲男（10ページ）

- ・ 令和4年度当初予算編成について

## 上圀 一行（11ページ）

- ・ 町長マニフェストについて

## 有川 美子（12ページ）

- ・ 猫の多頭飼育について
- ・ 外国人との共生社会に向けた地域防災について

## 中村 慎一（13ページ）

- ・ 高齢者の交通対策について

一般質問関係の記事は、各議員から提出された原稿を基に、質問議員の責任において掲載しています。

### 一般質問 1日目の動画配信

古田 昌也  
岸良 光廣  
平山 俊郎  
新改 幸一  
川口 憲男



### 一般質問 2日目の動画配信

上圀 一行  
有川 美子  
中村 慎一



## 一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずねます。

単に疑問をばらし、事実関係を明らかに

するだけではなく、現行政策の提言をする議員の重要な活動です。

本町議会の質問時間は、質問と町長等の答弁をあわせて1人60分以内となっております。12月定例会では8人の議員が一般質問を行いました。

議会を傍聴しませんか

本会議の様子は、インターネットでライブ中継を視聴できるほか、議場でも傍聴できます。是非ご覧ください。



古田 昌也 議員

情報発信

SNSの活用による情報発信は

※

町長／勉強会を開催し検討を進める

問

新型コロナウイルス感染症や7月豪雨災害などの危機事象があり、町民に対する情報提供等周知徹底が必要だと感じている。現在は、防災行政無線や町のホームページ等で周知を行っているが、SNSを活用し情報発信を行う考えはないか。

答

SNSを活用した情報発信については、文字に加え、写真による情報伝達もできる利点もある。役場内での勉強会も開催しながら、情報発信の在り方について検討を進めている。また、さつま町の公式ラインの登録者には、避難情報を発信している。

※SNSとは  
インターネットを使って交流できるオンラインサービスの総称。フェイスブックやライン、インスタグラムなどがある。

専門部署設置の考えは

町長／定員管理を考慮し進める

問

情報発信、周知にSNSを活用するためにも、行政のデジタル化を推進する必要があるが、専門の部署や係を設置する考えはないか。また、ワクチン接種予約でラインを活用した様に、業務の連携や町民サービスの向上にSNSを活用する考えはないか。

答

専門部署や係の設置については、SNSの活用はもとより増大する業務や複雑

地域担当職員制度の充実を

町長／重要な制度だと認識

地域支援

問

地域担当職員制度は区公民館等地域にとつては有難く、素晴らしい制度だと考えている。役場職員が地域づくりにまい進してもらえような体制の構築と、地域のリーダーとなる人材育成に支援を行う考えはないか。

答

地域からも担当職員に対して感謝の言葉を頂いていることから、今後も必要な制度であると認識している。地域リーダーとなる人材育成については、地域担当職員研修会の開催や職員自主研修制度も設けており、研修機会に対して経費の一部を助成している。

町外在住職員の在り方は

町長／万全の体制で対応

問

職員採用時は、町内在住が条件だと聞いているが、町外在住者は何人いるのか。また、7月豪雨災害のような緊急事態が発生した場合、町外在住職員はどのような対応を行い、危機管理体制は万全だと考えているか。

答

役場入庁後、親の介護など家庭の事情で現在20名が町外



町公式ラインQRコード



町公式ラインを新型コロナウイルスワクチン接種の予約に活用した。

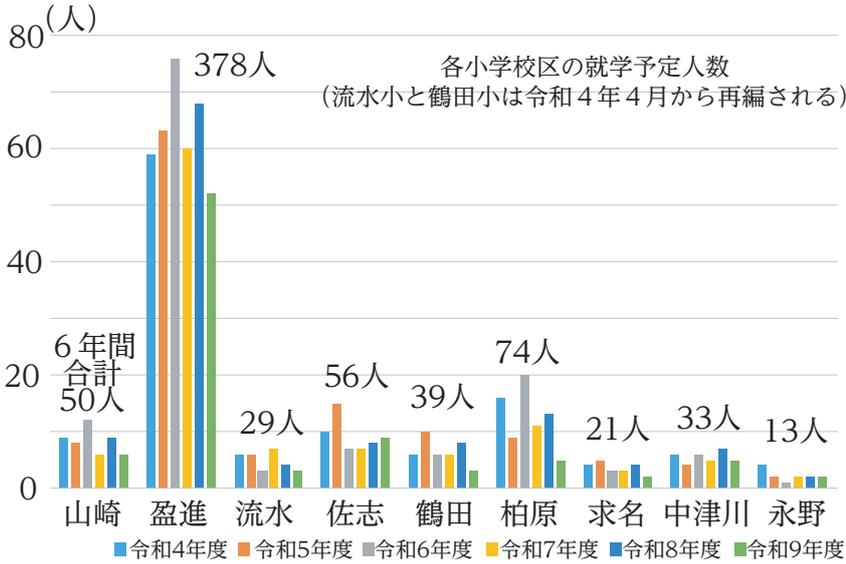
行政改革

人口減少の対策は

町長／将来を見据えた対策を推進



岸良 光廣 議員



**問** 今年10月末の推計人口は1万9千730人で、今年一年間のさつま町全体の新生児は約90人である。高齢化率も65歳以上が42%となり、今後小学校の統廃合が問題となってくると思うがどう考えているか。

**答** 出生数を見て私も驚いている。今、各学校で話し合いを進めているが、子供は学校を選択できない。ある程度の人数がいる方が良いと考える。今後いろいろ話し合いをしながら考えたい。



令和4年4月に再編される「新鶴田小学校」

**問** 令和3年のさつま町の小学生は、旧宮之城地区で672人、旧鶴田地区で195人、旧薩摩地区で86人、合計953人である。今後6年から12年までに530人台まで減少する見通しであるが対策は。

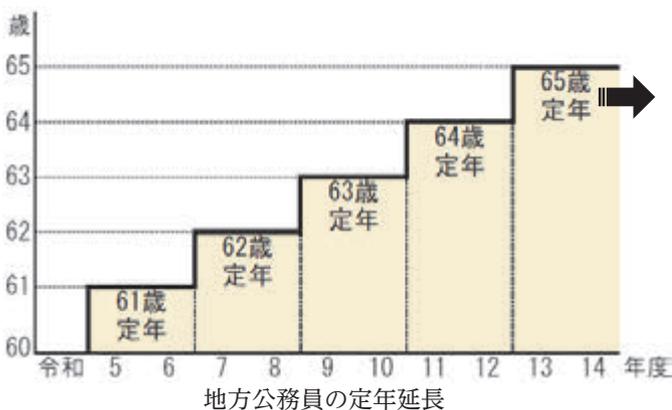
**答** 旧薩摩地区、求名・永野・中津川各小学校の統廃合も話し合いを行ったが、現状そのままである。今また地域での話し合いも行われており、今後どのような状況になるかわからないがしっかりと考えていきたい。

児童数減少の対策は町長／状況をみてしっかりと考えたい

今後の職員定数は町長／改めて検討を加速化する

**問** 今後10年間で60歳定年を65歳に改正する方針を国が決定した。さつま町としては、今後の職員定数をどのように考えているのか。

**答** 地方公務員法の一部を改正する法律が令和3年6月11日に公布された。令和5年度から2年に1歳ずつ段階的に定数が引き上げられることを踏まえ、措置を講ずること等を主な内容とするものである。定年の引上げによる定員管理についても、改めて検討を加速化していく。





平山 俊郎 議員

誘致活動

自衛隊誘致の進展は

町長／さらに官民一体で取り組む



町防衛施設誘致推進協議会が設置されている町商工会

問 自衛隊誘致活動について、本年6月議会定例会で「官民一体となり、積極的に進めていく」と答弁されたが、この半年間で自衛隊誘致推進活動に進展があったのか。また、誘致活動を積極的に推進するためにも、推進方針を定め、役場内に自衛隊誘致促進専門の部署を設置する考えはないか。また、企業誘致の一つとして、誘致業務に加える考えはないか。

答 7月以降、九州防衛局や自衛隊西部方面総監部など、九州の窓口となる防衛省関係機関を表敬訪問した。専門部署の設置については、誘致活動が進み方向性が見えた段階では、専門部署が必要であると考え。防衛施設の誘致は国の防衛施設推進の一助であり、若年層人口の増加や経済面など地域活性化への効果が期待されることから、企業誘致活動の一つとして取り組んでいく。



新改 幸一 議員

有効活用

中古ランドセルの活用は

教育長／支援団体と連携協力

問 6年間使ったランドセルは思い出が詰まっており、愛用したランドセルが誰かの役に立てばと思っている。支援団体と連携し、開発途上国など必要とされる国や地域へランドセルを送る取組を行う考えはないか。

答 使わなくなったランドセルを開発途上国などへ寄附する取組は全国においても行われている。町としては輸送コストや受入先との調整などが必要になることから、町が主体となるよりも、各種団体と連携した取組を支援したい。



ランドセルを背負った児童

予算編成

活性化を図る当初予算に

町長／各種計画と整合性を図る



川口 憲男 議員



問

町づくりには人口問題対策、経済振興対策、定住対策等の課題が重要である。予算編成にどの様に取り組み、町の活性化を図る考えか。

答

人口減の対策は重要な課題。地域の振興、関係人口の増加など地域経済の

底上げや好循環に取り組み。新型コロナや豪雨災害から町民の日常を取り戻すため、安全で安心して暮らせる町づくりを努める。限られた財源を効果的に活用し、将来を見据えた展開をするために選択と集中を徹底し、予算編成に取り組む。

自主財源の確保対策は

町長／応援寄附金の充実を図る

問

地方交付税の減少、人口減やコロナ禍による町民税等の減収により自主財源の確保が課題となっている。ふるさと納税、移住定住、企業誘致等に積極的な推進が必要と考えるが、予算編成にどの様に取り組み考えか。

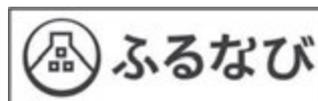
答

自主財源の安定確保は大変難しい。町税を始めほとんどの科目で減少している。ふるさと応援寄附金は最も有効な財源であり、令和3年度は3億円を超える見込みで、町の特産品、商品の開発を進めていく。また実効性のある総合的な移住定住対策の立案及び推進を図っていく。



カタログやインターネットから返礼品を選べる

QRコードを読み取ることでさつま町のふるさと応援寄附金の各サイトへ





上圀 一行 議員

## 選挙公約

### 防災力強化と医療体制は

#### 町長／危険箇所確認と医師確保



地域防災の要となる消防団員（令和4年消防出初式）

**問** 町長は選挙公約に安全で安心して暮らせる町づくり、地域防災力の強化と地域医療の充実を訴えている。就任後どのような取組を進めてきたか。

**答** 地域防災力の強化として、出水期前に町内一斉防災訓練の日を設定して町民参加型の訓練を実施し、地域防災の強化に取り組んでいる。医療体制の充実強化は、町民が安心して医療が受けられる体制整備に努める。

### 独自施策は

#### 町長／更に地域防災力を強化



地域医療の拠点となる薩摩郡医師会病院

**問** 現状は理解したが、特に力を入れる取組について、町長の独自施策は。

**答** 近年、全国各地で豪雨、台風、地震等、甚大な災害が発生している。行政の対応にも限界があることから、さつま町の地域の特性を考慮したうえで、地域防災力の強化に取り組む。

### 子育て支援の取組は

#### 町長／負担軽減に努める



産後ケア時の見守り

**問** 人口減少のスピードを遅らせる手立てとして、子育て支援の新たな施策は。

**答** 本町には産婦人科の医療機関がないことから、負担軽減に的かな支援を考えている。将来的には、経済的な対策を講じていきたい。



有川 美子 議員

## 猫の多頭飼育問題への取組は

町長／公財法人の事業活用検討中

### 多頭飼育

**問** 本町各地で起こっている猫の多頭飼育問題とは、町民の暮らしと福祉の問題である。町民からの相談件数と相談内容は。また、「公益財団法人どうぶつ基金」の不妊手術チケットを活用した問題解決への協力申し

込みがあるが、対応はどうなっているか。

**答** 猫に関する相談件数は、昨年度7件、今年度は11月までに4件あった。内容は、野良猫に一度餌を与えたら住みつき、仔猫まで生まれて困っていることなどだ。動物愛護団体等で実施している猫の不妊手術を行う公財法人の「さくらねこ無料不妊手術事業」への参加を検討中である。

条例を制定する考えは町長／ガイドラインの作成から

**問** 不適切な多頭飼育は、飼い主の生活状況と猫の状態や周辺環境の悪化に大きく影響している。本町でも「人と猫の共生に関する条例」制定を要望する声があるが、どのように考えているか。

**答** 県内では、鹿児島市や始良市で適

正な飼育を促す啓発条例を制定されている。また、薩摩川内市では、「猫の適正飼養ガイドライン」が制定されている。本町においては、今後飼い主や関係者の責務を明確化したガイドラインを作成して、状況を見ながら必要であれば条例の制定も検討していきたい。



保護されている猫たち

## 外国人への情報提供は十分か

町長／不十分 雇用企業との連携を

### 地域防災

**問** 地域防災の対象は、国籍に関係なく在留外国人も含まれる。在留外国人に対する防災情報は、どのような手段で発信しているか。また、情報提供の在り方について十分だと考えているか。

## 防災士を育成する考えは

町長／難しいと考える

**答**

防災情報等は、防災行政無線、ホームページ等で発信しているが、外国人に十分対応できるシステムとなっていない。外国人の大半は、一定期間の就労者であるため、雇用先の企業との連携が非常に大事であり、連携を密に情報提供をしたうえで周知してもらうことが、迅速で確実な手段と考えている。

**問**

今後の地域防災の担い手に、在留外国人を対象にする考えはないか。また、行政が主となり防災士を育成する考えはないか。

**答**

永住者や長期間の在住者、リーダー的な素質を持ち合わせている方があれば、良き理解者となつて、地域防災を担ってもらえればありがたい。しかし、防災士の育成は、行政主体では少しハードルが高いと感じている。より多くの方々に最低限の知識を持ってもらえるよう、防災知識や技術を養う取組を積極的に進めていく。





中村 慎一 議員

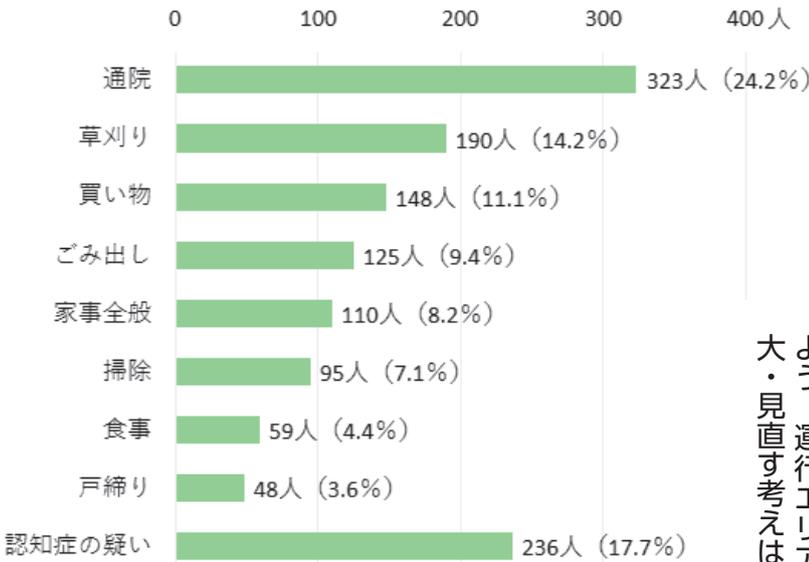
**問** 町長が所信で表明された「住み慣れた地域に安心して暮らす」ためには、地域に生きる高齢者の不安を解消することが大事。高齢者の困りごとの上位を占める病院受診と買物について、高齢ドライバーの実態と公共交通の利用状況から、高齢者の交通対策をどう考えているか。

**答** 高齢者の日常生活上の移動手段確保は大変重要な課題。現在も様々な形で生活支援や移動手段の確保

交通対策

町長／利便性の向上を図る

高齢者の交通対策は



高齢者の困りごととして、通院が最も多い結果となった（令和3年度高齢者実態調査より）

高齢者の運転比率は高い

町長／地域の声を聴いて見直す

**問** 高齢者の運転比率は高く、やっとなの思いで不安を抱えながら運転しているのが現状だ。地域公共交通は経済の循環を促すという目的がある。自由に移動できることは移住にも寄与できる。地域振興の布石として取組を進める考えは。

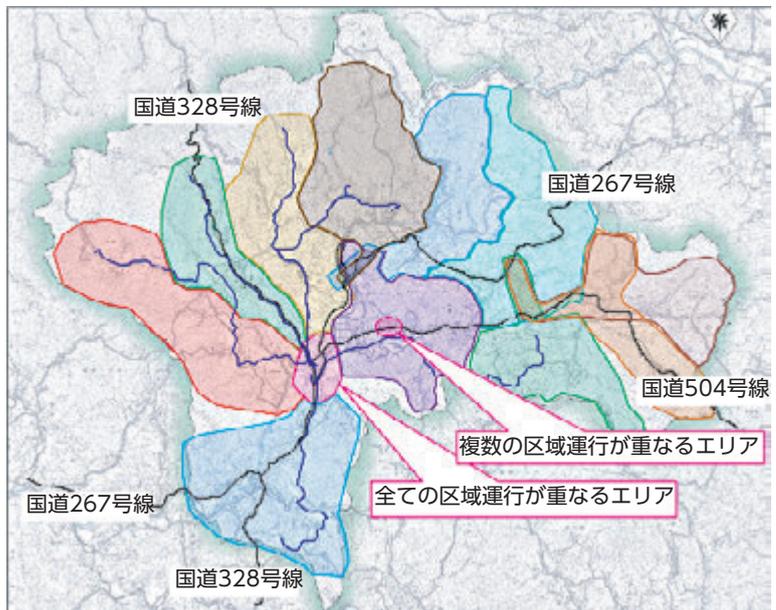
**答** その観点は十分認識しており、7月の見直しでは全てのエリアから宮之城まで乗入れ出来るようになった。今後も地域の声を聴きながら、利用者の利便性を第一に、財政的な問題、事業者の問題を勘案し、より良い運行に繋げたい。

を凶ってきている。乗合タクシーは「ドアツードア方式」を導入し利便性の向上に取り組んできている。

**問** 乗合タクシーは運行区域の制限から、鶴田、薩摩、宮之城北西部から船木や山崎のエリアの総合病院や専門病院まで乗車でできない。病院受診の患者も多く、郡医師会病院と同等に利用できるよう、運行エリアの拡大・見直す考えは。

**答** 運行区域の拡大は事業者の経営面に大きく影響し、運行費用の増加は運賃値上げにも繋がる。乗継環境を改善してきているので路線バスを利用してほしい。今後も全国の事例等を参考に、より良い地域公共交通を目指したい。

乗合タクシーの運行区域は町長／現状維持で乗合バス乗継を



令和3年7月に見直した乗合タクシーの運行区域

# 行財政改革 議会活性化 独自で調査・研究を実施！

町長が行う行財政改革の調査や、議会全体の活性化を図るため、特別委員会を設置し、特定の項目について専門的に議論を行っています。

委員長：平八重光輝  
副委員長：有川美子  
令和3年6月10日に設置され、これまでに8回の委員会を開催しました。

## 行財政改革調査特別委員会

行財政運営の健全化及び行財政改革の推進等の取組について調査を行う特別委員会で、議長を除く全議員で構成されます。



タブレット端末の操作方法説明会  
(行財政改革調査特別委員会)

◆主な調査事項◆  
今後の調査内容としては、「タブレット端末の導入によるペーパーレス化」「学校給食センターの民間委託」などについて調査協議していく予定です。

- 1 公共施設の今後の計画
- 2 令和2年度行政改革の実績
- 3 宮之城学校給食センターの民間委託
- 4 会議のペーパーレス化

## 議会活性化調査特別委員会

議会の活性化及び議員定数・議員報酬について調査を行う特別委員会で、議長を除く全議員で構成されます。

委員長：新改秀作  
副委員長：川口憲男

令和3年6月10日に設置され、これまでに8回の委員会を開催しました。

令和7年4月以降の議員定数・議員報酬については、町民の意見を広く聴くなどして、令和5年3月までに委員会としての結論を出す予定です。  
議会の活性化については、各議員から提案された議会活性化の項目をそれぞれ協議しています。

## ◆各議員の提案項目◆

- 1 自衛隊施設の誘致
- 2 質問時間の見直し
- 3 議員定数と報酬
- 4 政務活動費の導入
- 5 議会図書の実施
- 6 特別支援学校の誘致
- 7 休日議会・夜間議会の開催
- 8 子ども議会の開催
- 9 次世代議員の発掘と町民との政策づくり
- 10 女性議員を増やすための方策
- 11 フォーター制度導入
- 12 SNSを活用した情報発信
- 13 SDGsバッジや各リボン運動の活用と研究
- 14 議会モニター制度と議会だよりモニター募集
- 15 町民との意見交換会の開催回数見直し
- 16 災害時における行動指針の策定
- 17 議員提案・委員会提案条例の検討会開催
- 18 通年議会制の導入



活発な意見交換により活性化を図る（議会活性化調査特別委員会）

●ご意見を募集●  
議会では、議員定数・議員報酬やその他のご意見等を広く聴取していただきますので、議会事務局までお知らせください。  
議会事務局メールアドレス  
gi-giji@satsuma-net.jp

# 令和2年度の決算を問う!!

私たちの貴重な税金は  
目的どおり使われたか？ 無駄づかいはなかったか？ その効果を問う！

決算特別委員会は、令和3年9月定例会で上程された令和2年度の決算議案について、その認定審査のために令和3年9月24日に設置され、8人の委員で構成されます。

委員長…上園一行  
副委員長…古田昌也  
委員…岸良光廣  
中村慎一  
有川美子  
新改幸一  
上別府ユキ  
柏木幸平

- 上程された決算議案
- ・令和2年度さつま町歳入歳出決算の認定について
  - ・令和2年度さつま町上水道事業会計決算の認定について
  - ・令和2年度さつま町上水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

令和3年11月30日にすべての決算議案が認定・可決されました。

## ◆決算特別委員会の主な審査内容

**問** AEDをコンビニ二等に設置できないか

**答** 店舗の費用対効果などにより、設置が難しい状況である。

**問** ごみのリサイクル率の目標値20%は達成できたのか

**答** 全町域で生ごみリサイクルを開始したことで22・6%となり、確実にリサイクルが進んでいる。

**問** 自殺予防対策「119の元氣カフェ」の開催回数を増やす考えは

**答** 利用者が少ない状況であるため周知を図りたい。また、\*ゲートキーパーの確保を図る研修会を開催している。

\*ゲートキーパー  
自殺の危険を示すサインに気付き、声かけや見守りなどの適切な対応を図ることが出来る人のこと。



生ごみ回収の様子



学校給食を調理している給食センター

**問** ふるさとさつま応援基金の主な充当先は

**答** 福祉給食や学校給食、教育関係、図書運営などである。

**問** 給食費助成を給食センターの民間委託後も継続するのか

**答** マニフェスト事業であるため、継続する方向で協議している。

**問** 宅地開発などによる配水管布設等の設備投資が必要になったときの対策は

**答** 現在も水圧不足による整備を進めており、先行投資によるインフラ整備が遅れないよう情報収集をしている。

**問** 町道維持管理補修の対応策は

**答** 補修内容の緊急性を勘案し、職員でできる補修はすぐに対応するが、内容によっては業者に依頼している。

# 議会活動



東海地区企業訪問（11月18日）  
（愛知県名古屋市：株式会社佐藤製作所）



国道504号議員期成会中央要望（11月24日）  
（左から宮之脇議長、上野町長、山田国土交通事務次官、小里衆議院議員、鹿児島市街路整備課長）



町単独議員研修会でトラック用竹床材生産の様子を視察（未来シティ研究所）（1月13日）  
＜議場にて業者から概要説明＞



＜工場にて現地視察＞



《表紙紹介》  
1月4日に宮之城文化センターで町成人式が開催されました。  
コロナ禍の中、久しぶりの再会に喜ぶ姿が多く見られました。



新鶴田小学校現地視察（1月21日）

## 編集後記

新年明けましておめでとうござい  
ます。2022年が皆様にとつ  
て明るく希望に溢れる一年とな  
りますように。

さて、広報委員会では見やすさ、  
読みやすさ等を重視し、議会活動  
などの情報をわかりやすく掲載で  
きるように心掛けています。少  
しでも、議会活動に興味を持っ  
ただくため、多くの方に情報の周  
知ができるようにと、日々議論を  
重ねております。

昨年から引き続き新型コロナウイルス  
感染症が猛威をふるって  
おり、人との密を避けておりますが、  
こんな時代だからこそ心の密が必  
要だと感じております。

世界一、密な広報誌を目指しま  
すので、議会だよりのご愛読をお  
願いたします。  
（古田）

### 議会広報特別委員会

委員長 上久保 澄雄  
副委員長 有川 美子  
委員 中村 慎一  
委員 古田 昌也

発行／さつま町議会 発行責任者／さつま町議会議長 宮之脇 尚美  
〒895-1803さつま町宮之城屋地1565番地2 電話 0996-53-1111 FAX 0996-52-0704